

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 188 号	氏名	矢倉 千昭
学位審査委員	主査 下川 功 副査 上平 憲 副査 大園 恵幸		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、健常若年者における葉酸代謝関連因子と心血管リスクファクターとの関連性を明らかにし、若年者における効率的な動脈硬化の発見手法の確立を目指したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 インフォームドコンセントを得た対象者の血液サンプルのホモシステイン濃度などの因子と、頸動脈内膜中膜複合体厚 (CIMT)、Cardio-ankle vascular index (CAVI) との相関を種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、葉酸がホモシステイン濃度の独立した決定因子であり、ホモシステイン濃度と CIMT の肥厚に関連性があることを明らかにした点は、動脈硬化の初期変化を同定している可能性が高く、評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は動脈硬化の疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			